

はしがき

本報告書は、NGO と外務省が合同で実施したタイ保健分野評価の結果を取りまとめたものである。

日本の政府開発援助（ODA）は総額で世界のトップクラスの規模を維持しており、国内的にも国際的にも、より質の高い、効果的かつ効率的な援助の実施が求められている。外務省は ODA の調整官庁として、ODA の実施管理とアカウンタビリティの確保という二つの目的を果たすため、主に政策レベル及びプログラム・レベルの評価を行っている。

また、「NGO・外務省合同評価」は NGO 関係者と ODA 関係者が合同で評価活動を行うことを通じ、今後の協力・連携の方向性を導き出すとともに、様々な観点から評価することで評価の公正・客観性を確保することを目的としている。

本件は、タイ保健分野に対する日本の援助の目的、実施プロセス及び結果を検証し、援助政策の見直し及び今後のより効果的・効率的な援助の実施の参考となるための教訓・提言を得ること、さらに評価結果を公表し説明責任を果たすことを目的としている。

本評価の実施にあたっては、タイ政府、日本の援助実施関係者、国際援助機関及びタイで活動している NGO 関係者の方々から多大な協力を賜った。また、外務省、独立行政法人国際協力機構、国際協力銀行、現地 ODA タスクフォースの関係者からも有益なコメント、意見を頂いた。ここに心より謝意を表したい。なお、本評価では、外務省国際協力局評価室が全体調整を行い、外務省が業務委託した三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社が一連の情報収集・分析等補助業務を行った。

2007年3月

評価チーム

(NGO)

古沢 広祐 (特活) 国際協力 NGO センター理事
山崎 真由美 (特活) 名古屋 NGO センター理事

(外務省)

吉井 幸夫 国際協力局評価室 上席専門官
梅沢 千春 国際協力局評価室
菊池 美帆子 国際協力局評価室
山本 太郎 国際協力局多国間協力課課長補佐
大島 寛之 国際協力局多国間協力課（～2006年12月）
多久島 容子 国際協力局多国間協力課（2007年1月～）
仲澤 純 国際協力局国別開発協力第一課
岩澤 俊輔 国際協力局無償資金・技術協力課

(コンサルタント)

岡本 義朗 三菱UFJ リサーチ&コンサルティング主席研究員
荒川 潤 三菱UFJ リサーチ&コンサルティング主任研究員
岩名 礼介 三菱UFJ リサーチ&コンサルティング副主任研究員